

平成 28 年 7 月 9 日

第 2 回施設見学会報告

7 月 6 日（水）第 2 回施設見学会として中川区にある打出水処理センターを見学しました。参加者は 46 名でした。

昭和 48 年雨水ポンプ場として運転を開始し、引き続き高度処理施設の建設を進め、昭和 50 年 4 月に処理施設が完成しました。（処理能力 4 万 3,800 m³/日）

その後、汚水の流入増加に伴い数回の施設の拡張工事を進め、平成 13 年度末の処理能力は 28 万 m³/日）となっています。これは 15 か所ある名古屋市の水処理センターで最大の処理能力となっています。

約 10 名の所員の出迎えを受け、室内での施設の説明に続き、現場見学に移り、雨水ポンプ施設、最初沈殿池、反応タンク、最終沈殿池等を見学しました。処理された水は消毒され、庄内川に放水されています。

又、処理水の一部は砂ろ過され、この再生水を荒子川に放流しています。荒子川は近年の都市化により流量が減ってきており、放流により水量を回復させ、周辺の人々に親しまれるせせらぎをつくっています。平成 12 年建設大臣賞「蘇る水百選」に選ばれているとのことです。堀川を活動の拠点にしている我々にはうらやましい限りと思いました。

